

## 新規受託項目

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。  
この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。  
謹白



### 項目名

● 抗酸菌同定・薬剤感受性セット (依頼コード No.86807)

受託開始日 2024年4月1日(月) ご依頼分より

抗酸菌培養検査が陽性の場合、速やかに菌種を同定することが診断や治療、感染管理の面から重要となります。

さらに、結核菌群と非結核性抗酸菌では治療方針の決定に、菌種に応じた薬剤感受性検査が必要です。弊社では、質量分析法にて抗酸菌の同定検査を行い、検出された抗酸菌の菌種に応じて薬剤感受性検査を自動的に選択実施する、抗酸菌同定・薬剤感受性セット(依頼コードNo.86806)を2023年4月より受託しております。

この度、非結核性遅発育抗酸菌/MIC測定につきまして、CLSI M24 3rd Editionに準拠した薬剤感受性検査を採用し、新たな抗酸菌同定・薬剤感受性セットの依頼コードを新設しましたのでご案内いたします。

- 既に弊社Information No.2023-53にてご案内しましたとおり、現行の抗酸菌同定・薬剤感受性セット(依頼コードNo.86806)は、2024年3月30日(土)ご依頼分をもって検査の受託を中止させていただきます。

次ページに続きます

株式会社 **ビー・エム・エル**

本社：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-3  
総合研究所：〒350-1101 埼玉県川越市の場1361-1  
☎ 03(6629)7386 FAX 049(232)3132

検査項目検索用  
アプリ B-Book



Google play



Available on the  
App Store



電子カルテはビー・エム・エル



## ● 抗酸菌同定・薬剤感受性セット

本セットは、質量分析法にて抗酸菌の同定検査を行い、検出された抗酸菌に応じて薬剤感受性検査を自動的に選択して実施いたします。

### 受託要領

セットコードNo. (セット名)	86807 抗酸菌同定・薬剤感受性セット
検査項目名 (セット内容)	① 86175 抗酸菌同定(質量分析法) ② 08052 抗酸菌薬剤感受性試験-4薬剤以上/マイクロタイター法 ③ 08772 PZA ④ 86228 非結核性遅発育抗酸菌(SGM)/MIC測定 ⑤ 86207 迅速発育抗酸菌(RGM)/MIC測定
検体必要量	菌株 : 抗酸菌の発育が認められるもの 生検体: 喀痰、胃液など2~3mL
容器	菌株 : 抗酸菌用培地 生検体: S-P(ネジブタ付滅菌喀痰容器)、S-S(滅菌スピッツ管)
検体の保存方法	菌株 : 室温 生検体: 冷蔵

#### 【本セットの薬剤感受性検査の実施条件】

(①抗酸菌同定の結果により、以下のように実施いたします。検査対象薬剤は3ページをご参照ください。)

実施条件	実施項目
結核菌群検出の場合	②抗酸菌薬剤感受性試験-4薬剤以上、③PZA
非結核性遅発育抗酸菌検出の場合	④非結核性遅発育抗酸菌(SGM)/MIC測定
非結核性迅速発育抗酸菌検出の場合	⑤迅速発育抗酸菌(RGM)/MIC測定

※②,③はS(感性)またはR(耐性)を報告いたします。④,⑤はMIC値(μg/mL)を報告いたします。

※1つの検出菌に対して、複数の薬剤感受性検査を実施することはできません。

※検査を実施しない薬剤感受性検査は「検査不要」と報告いたします。

#### 【出検時の注意事項】

● 菌株でご提出の場合は、雑菌が発育していない培地をご提出ください。

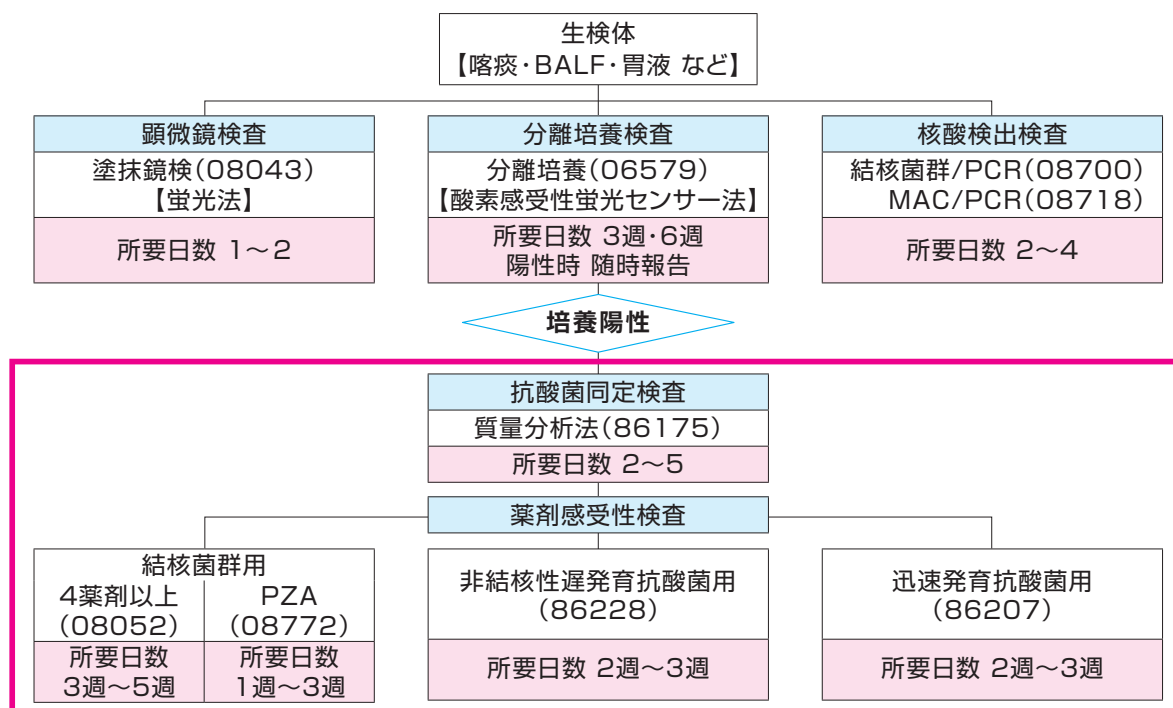
● 生検体でご提出の場合は、必ず分離培養も同時にご依頼ください。

培養陽性後に検査を実施いたします。

・依頼コードNo.06579: 分離培養(酸素感受性蛍光センサー法)

・依頼コードNo.08044: 分離培養(小川培地使用)

## ● 抗酸菌検査フローチャート(BML推奨)



※赤枠内: 新設の抗酸菌同定・薬剤感受性セット(セットコードNo.86807)

◆( )内は依頼コードNo.

## (ご参考)薬剤の略語と薬剤名

### ●抗酸菌(結核菌)薬剤感受性試験-4薬剤以上(依頼コードNo.08052)の検査対象薬剤

SM(ストレプトマイシン)	INH(イソニアジド)	RFP(リファンピシン)
EB(エタンブトール)	KM(カナマイシン)	EVM(エンビオマイシン)
TH(エチオナミド)	CS(サイクロセリン)	PAS(パラアミノサリチル酸)
LVFX(レボフロキサシン)		

### ●PZA薬剤感受性検査(依頼コードNo.08772)の検査対象薬剤

PZA (ピラジナミド)

### ●非結核性遅発育抗酸菌(SGM)/MIC測定(依頼コードNo.86228)の検査対象薬剤

CAM(クラリスロマイシン)	AZM(アジスロマイシン)	MFLX(モキシフロキサシン)
STFX(シタフロキサシン)	AMK(アミカシン)	KM(カナマイシン)
MINO(ミノサイクリン)	DOXY(ドキシサイクリン)	INH(イソニアジド)
LZD(リネゾリド)	EB(エタンブトール)	TH(エチオナミド)
RBT(リファブチン)	RFP(リファンピシン)	

### ●迅速発育抗酸菌(RGM)/MIC測定(依頼コードNo.86207)の検査対象薬剤

AMK(アミカシン)	TOB(トブラマイシン)	IPM(イミペネム)
FRPM(ファロペネム)	LVFX(レボフロキサシン)	MFLX(モキシフロキサシン)
AZM(アジスロマイシン)	CAM(クラリスロマイシン)	DOXY(ドキシサイクリン)
MEPM(メロペネム)	LZD(リネゾリド)	CLF(クロファジミン)
STFX(シタフロキサシン)	ST(スルファメトキサゾール/トリメトプリム)	

- ◆ST(スルファメトキサゾール/トリメトプリム)につきましては、スルファメトキサゾールのMIC値を報告書に表記いたします。

### 【参考文献】

日本結核・非結核性抗酸菌症学会編集:抗酸菌検査ガイド2020。(南江堂)